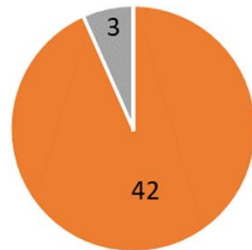


(麦類) 県内地域における農業気象災害の傾向

【全体概要】

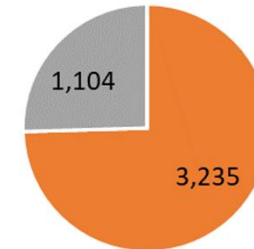
- （図左）麦類における農業気象災害の発生件数は、過去30年間合計で45件。降雹・強風・大雨が42件、降霜が3件となっている。
- （図右）被害金額は、過去30年間合計で4,339百万円。降雹・強風・大雨が3,235百万円、降霜が1,104百万円となっている。
- 上記の各災害における被害金額においては、降雹・強風・大雨、降霜では調査した8品目の中で2番目となっている。

災害種類ごとの件数（件）



■ 1. 台風 ■ 2. 降雹・強風・大雨 ■ 3. 降霜 ■ 4. 降雪 ■ 5. 落雷

災害種類ごとの被害金額（百万円）

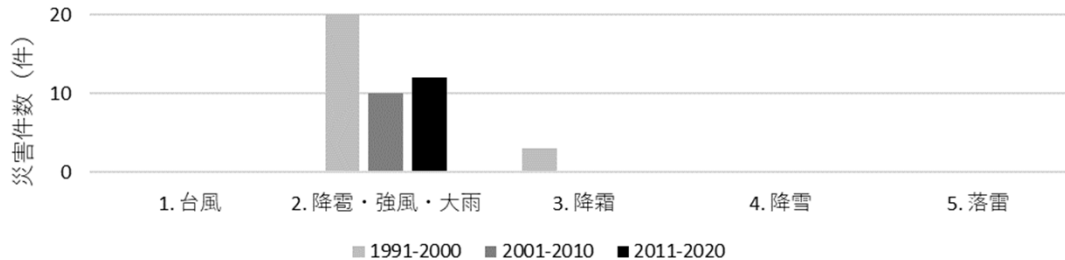


■ 1. 台風 ■ 2. 降雹・強風・大雨 ■ 3. 降霜 ■ 4. 降雪 ■ 5. 落雷

【災害別の10年ごと（1990年代・2000年代・2010年代）の傾向】

- （図左）災害件数について。年代順に、降雹・強風・大雨は、20件、10件、12件。降霜は、3件、0件、0件。
- （図右の2）降雹・強風・大雨による被害金額は、2010年代が最も大きく2,546百万円、1990年代は522百万円。2000年代は166百万円。
- （図右の3）降霜による被害金額は、1990年代の1,104百万円のみ。
- 大雨の強度や頻度に増加傾向が確認されており^{*1}、被害の拡大が懸念される。また、晩霜害の増加による被害の拡大も懸念される^{*2}。

災害種類ごとの件数 10年ごとの変化



災害種類ごとの被害金額 10年ごとの変化

